

第 50 回岐腎協大会開催のお礼

このたび、第 50 回岐腎協大会を無事開催することができました。ご来賓の皆様をはじめ、ご参加いただいた会員の皆様、関係者の皆様のご支援とご協力に心より感謝申し上げます。おかげさまで、7 年ぶりとなる大会を盛会のうちに終えることができました。これもひとえに皆様のお力添えの賜物と深く御礼申し上げます。今後も透析患者の福祉向上を目指し、会員の皆様とともに活動を続けてまいります。引き続きご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和 8 年 6 月

NPO 法人岐阜県腎臓病協議会
会長 田中 和博

「透析患者の声
今後とも社会へ」
美濃加茂で岐腎協大会

県内の透析患者でつくる NPO 法人「県腎臓病協議会（岐腎協）」の大会（中日新聞社、中日新聞社会事業団後援）が 7 日、美濃加茂市文化会館「かも〜る」で開かれ、患者ら約 340 人が誰もが安心して治療を続け、人生を歩める社会の実現を願った。

コロナ禍で中止になった 2021 年の「50 周年大会」として、創立 55 年に合わせて 7 年ぶりに対面の大会を開いた。田中和博会長



（65）は不安定な国際情勢が医療物資やエネルギー供給へ影響することを懸念。透析は大量の水、電力、医療材料が必要なことを指摘し

安心して治療を続けられる社会の実現を願い開催された大会＝美濃加茂市文化会館「かも〜る」で

電子版アプリで紙面読めます
中日新聞プラス会員（登録無料）は、電子版で名古屋向けなど 4 種類の朝刊と中部 9 県全域の地方版紙面をスマホ、タブレットのアプリとパソコンでご覧いただけます。

地元なび 紙面を見る 過去記事検索

て「安心して治療を受けられる環境を守るため、今後も患者の声を社会に届ける」と力を込めた。

岐腎協によると、県内の患者約 5 千人のうち約 1800 人が加入。組織率は全国トップで長年、署名や請願などを通し、治療環境の充実を国に訴えてきた。

大会では新可児クリニック（可児市）の二村泰弘院長（48）が治療技術の現状などについて講演した。（山本真嗣）

2026 年 6 月 8 日（月）中日新聞 岐阜県版に掲載